

京都府立東舞鶴高校と京都府立大学の連携授業 「古文書とフィールドワークを通してみる舞鶴の歴史」

京都府立東舞鶴高校 教諭
廣瀬 邦彦

京都府立東舞鶴高校（全日制）は全校生徒 500 名あまりの普通科単独の高校である。

本校では、地歴公民科の授業の一環として、東昇准教授と大学院生の皆さんによる連携授業を実施した。当初は年間に 5 回の授業予定であったが、第 1 回（7 月 9 日）が悪天候により中止となったため、結果的に 4 回の実施となった。

連携授業の獲得目標は次のとおりである。①暗記科目となりがちな歴史の学習であるが、探求する心が大切であることに気づかせること。②歴史は教科書に載っているような中央の出来事だけでなく、舞鶴など地方にも豊富にあることに気づかせること。③大学での研究の一端を体験させ、自己の進路選択の一助とさせること。こうした取り組みを通じて、地域の歴史に興味をもち自ら学ぼうとする生徒を育てたい。

今年度の授業に参加したのは、2 年生 4 組・5 組（アドバンスコース）の生徒のうち、「日本史 B」を選択している生徒 32 名と、「世界史 B」を選択している生徒 29 名の計 61 名であった。会場は本校の視聴覚教室を利用した。

普段の高校での授業とはひと味違う探求活動に、生徒は熱心に取り組んだ。自分の身近な地域や行事にも意外な歴史が宿っていることに、生徒はとても興味を持った様子であった。また年齢が近い大学院生とのふれあいを通じて、大学生活へのあこがれも強まったものと思われる。当初はフィールドワークを取り入れたいという思いがあったが、生徒の人数や授業時間数など高校側の制約のため実施できなかったことは残念だった。

東先生には、探求活動のテーマ設定から、高校生の目線に立った指導教材の工夫まで、毎回時間をとって準備していただいた。また大学院生の皆さんにもたびたびご来鶴いただき、授業の補助などをお世話になった。多忙な中ご協力いただいた府立大学の皆さんにこの場で感謝申し上げたい。

第 1 回 「桐油・桐実からみる舞鶴の歴史」

日時 10 月 22 日【月】 1・2 時間目（以下、1 時間は 50 分間）

授業の前半では、東先生、大学院生から京都府立大学での研究と学生生活（一人暮らし、サークル活動、アルバイトなど）の紹介。後半は舞鶴での桐油・桐実生産についての授業。舞鶴市が全国有数の桐油の生産地であったことを紹介した上で、舞鶴市堂奥の村絵図（明治 13 年）で桐畑の多さを確認。その後、「加佐郡村誌」（明治 15 年）からとった村ごとの桐実生産高のデータを白地図に記入し、班ごとに明治時代の桐畑の分布の特質について考えさせ発表させた。

第2回「200年前の東舞鶴高校付近」

日時 11月12日【月】 2時間目

東舞鶴高校の生徒通学路は江戸時代の街道筋と重なっている部分が多い。「西国巡礼略打道中記」(文政3年)には、東舞鶴高校周辺(市場、小倉、鹿原)についての江戸時代の情報が豊富に含まれている。今回はこの史料を利用して、生徒が毎日目に行っている風景を歴史的な視点から再発見させた。生徒には現代の地図を配布し、「西国巡礼略打道中記」の記事を読ませて、当時の街道ルートの復元に挑戦させた。また、古文書への導入としてくずし文字の解読にも挑戦させた。

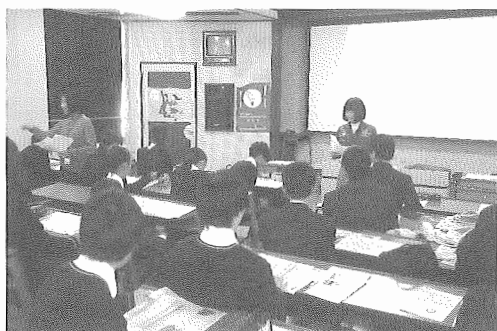


写真1 ワークショップの様子

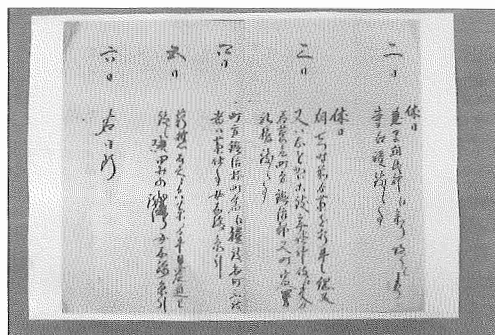


写真2 古文書のプリント

第3回「200年前の舞鶴の正月行事」

日時 1月11日【月】 1・2時間目

今回は史料「百姓作方年中行事」にもとづいて、舞鶴市餘部上・成生という異なったタイプの二つの村を素材とし、それぞれの江戸時代の正月行事を考察した。生徒には白紙の正月カレンダーを配布し、餘部上村と成生村の正月行事を記入させ、現代と江戸時代の正月行事の違い、また農村である餘部上村と漁村である成生村の正月行事の差異について班ごとに考えさせた。

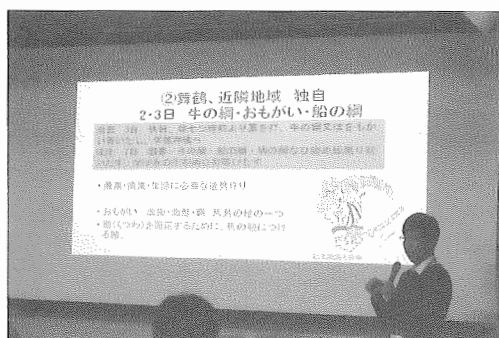


写真3 正月行事の講義

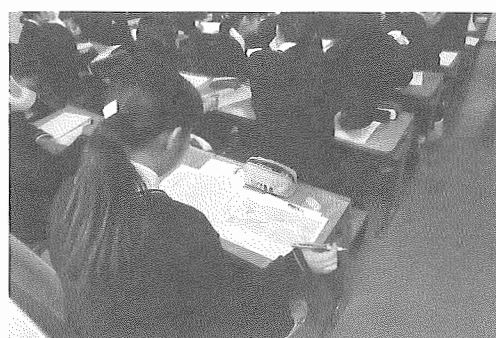


写真4 課題に取り組む高校生

第4回「歴史研究と大学生活」

日時 2月18日【月】 2時間目

一年間の連携授業のまとめとして、東先生や学生院生から、各自の歴史研究に対する思いや目標などを紹介していただいた。

表紙の解説

	1	2	3
5		4	
(裏)		(表)	

- 1 「舞鶴の歴史アラカルト」パンフレット
- 2 文書蔵出し調査風景 東昇撮影
- 3 舞鶴地方史研究会との共同調査 東昇撮影
- 4 舞鶴クレインブリッジ 松岡秀雄氏撮影
- 5 東舞鶴高校での授業風景 廣瀬邦彦氏撮影

京都府立大学文化遺産叢書（2008～）

- 1 南山城・宇治地域を中心とする歴史遺産・文化的景観の研究
- 2 近世伊予越智島地域における流動する人・物・情報
—御用日記・諸願控の総合的研究—
- 3 八幡地域の古文書と石清水八幡宮の絵図—地域文化遺産の情報化—
- 4 八幡地域の古文書・石造物・景観—地域文化遺産の情報化—
- 5 丹後・宮津の街道と信仰
- 6 城陽市域の地域文化遺産—神社・街道の文化遺産と景観—
- 7 熊野の信仰と景観—宗教遺産学の試み—
- 8 石見銀山域の歴史と景観—世界遺産と地域遺産—
- 9 和束地域の歴史と文化遺産
- 10 八幡・南山城地域の寺院資料と信仰—京都府歴史資料調査—
- 11 舞鶴の文化遺産と活用
- 12 「丹後の海」の歴史と文化
- 13 古代寺院の儀礼・経営に関する分野横断的研究
- 14 舞鶴・京丹後地域の文化遺産
- 15 沖縄の宗教・葬送儀礼・戦没者慰霊



京都府立大学文化遺産叢書 第16集
舞鶴の地域連携と世代間交流
井上奥本家文書調査報告

編集 東 昇
発行 京都府立大学文学部歴史学科
〒606-8522 京都市左京区下鴨半木町1-5
発行日 2019年3月30日
印刷